

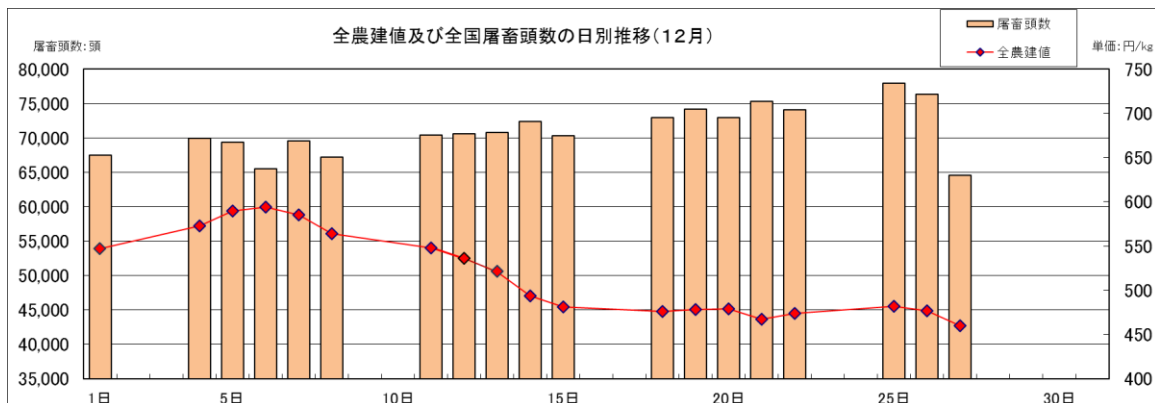
肉豚インフォメーション（12月）

● 12月の動向

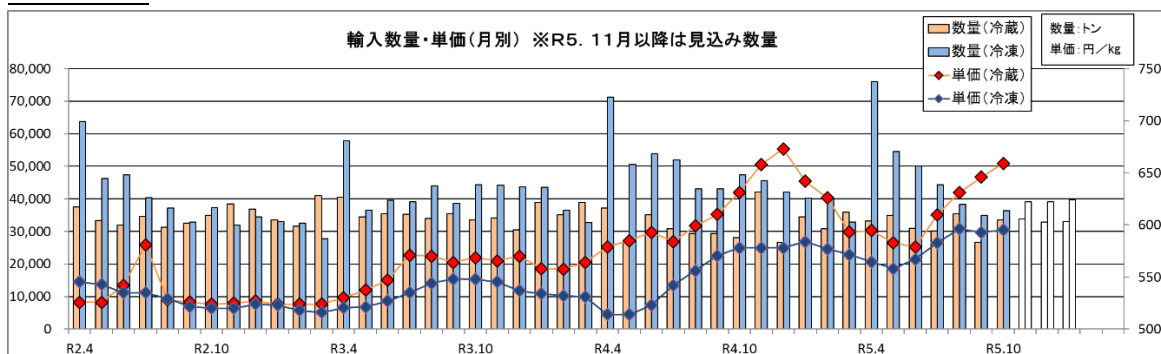
2023年12月（税抜）	2022年12月（税抜）
517 円/kg（11 円安）	528 円/kg

※全農建値

12月上旬は鍋需要により相場を押し上げる展開となったが、中下旬にかけて例年と比べ暖かい気候となったことから鍋需要の低下とともに相場も下げる展開となった。

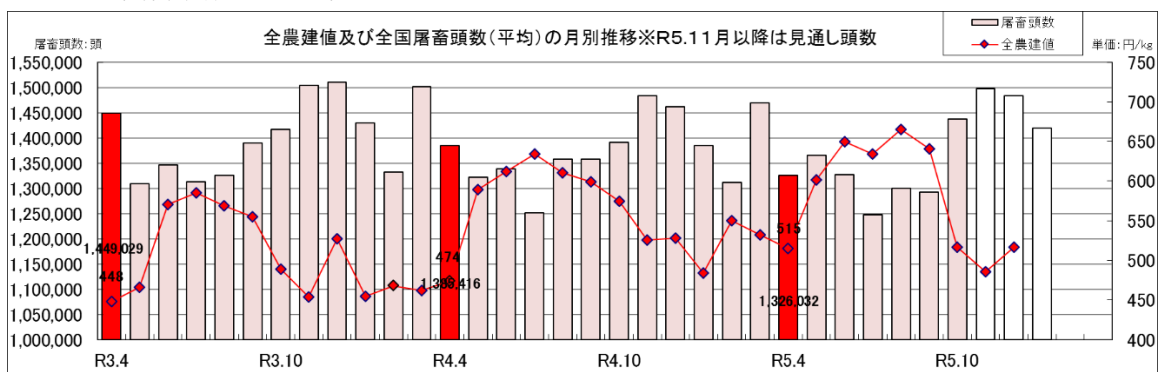


● 輸入動向



● 1月の動向

1月の出荷頭数は、前年同月をわずかに上回ると予測されている。



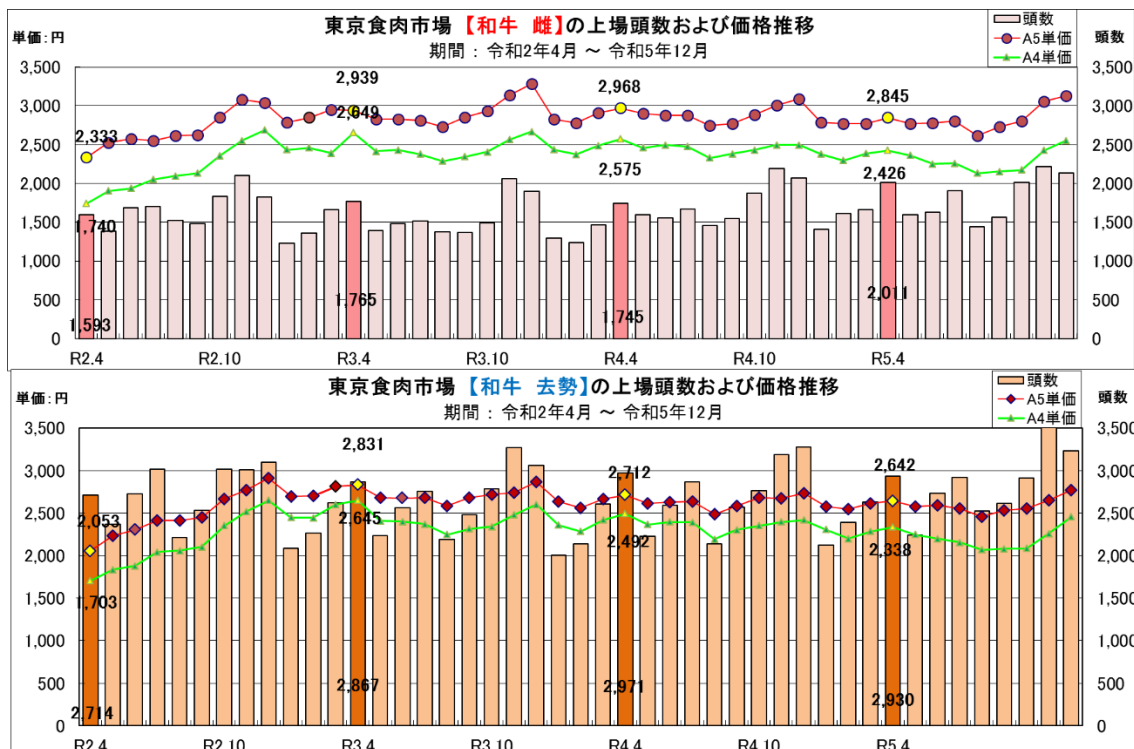
1月の相場は、軟調に推移する見通し。

全農建値（税抜）予測レンジは420円～480円とする。

肉牛インフォメーション（12月）

● 12月の動向

上場頭数が多い日が続く中であったが堅調に展開し、全体的には強もちあいとなった。



● 1月の動向予測

年末年始の連休明けで上場日数が少ないことや、年末の在庫補充などで一定の動きを見込むが、全体的な引き合いは弱いと予想。

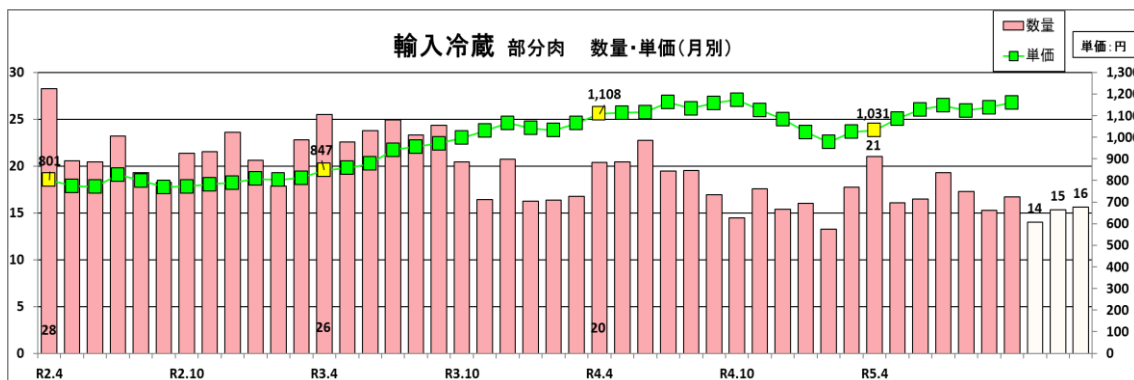
1月相場は「軟調」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2450円（税込み） A4等級 2,250円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,600円（税込み） B3等級 1,450円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、12月、1月ともに、国内需要が低迷下にある中、生産量の増加から豪州産輸入量が増加するものの、米国産輸入量が現地相場の高騰もあり少ないこと等から、前年同月をわずかに下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。（ALIC牛肉の需給予測について12月26日）



食肉インフォメーション（12月）

●12月の動向

○牛肉

お歳暮ギフト・コロナ5類移行によるクリスマス・年末年始需要の増加から、ロース・肩ロースが好調な売れ行きで、ウデ・モモ等のスソ物も堅調に推移した。

気温が高めで推移した中でも鍋物・すき焼きの需要は安定したが、一方で焼肉用の需要は減少した。

○豚肉

気温低下に伴い増加する鍋物需要と、年末年始向けの焼豚・角煮用の需要等が合わさり、肩ロース・バラの売れ行きが好調となった。物価高による節約志向から、小間切れ用のスソ物に加えて、ロース・ヒレも牛肉の代替需要により堅調な売れ行きとなった。

●1月の動向予測

○牛肉

年始の三が日から成人の日にかけてはハレの日需要が期待できるが、その後は反動で全体的に消費が鈍くなると見込まれる。切り落とし用のウデ・モモや煮込み用のスネ等、比較的安価なスソ物が堅調に推移する一方で、ロイン系等の高級部位は厳しい展開になると予想される。

○豚肉

年明け以降も、鍋物需要等で肩ロース・バラの販売は好調を維持すると見込まれる。また、年末年始の反動による節約志向から、比較的高価なロース・ヒレの消費は鈍り、小間切れ用のスソ物や鶏肉に需要がシフトすると予想される。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和5年11月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和3年度11月	12,228	15,984	13,421	34,384	17,323	10,980	7,215	111,535
令和4年度11月	15,380	14,544	15,495	30,900	19,354	10,679	7,202	113,554
令和5年度11月	15,431	13,279	14,203	36,836	19,687	10,136	7,131	116,703
増減（R5-R4）	51	-1,265	-1,292	5,936	333	-543	-71	3,149
対比（R3/R5）	126%	83%	106%	107%	114%	92%	99%	105%
対比（R4/R5）	100%	91%	92%	119%	102%	95%	99%	103%